

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第29期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社アルゴグラフィックス
【英訳名】	ARGO GRAPHICS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 会長執行役員（CEO） 藤澤 義 磨
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2020
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画室長 伊藤 俊 彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2018
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画室長 伊藤 俊 彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第1四半期 連結累計期間	第29期 第1四半期 連結累計期間	第28期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	7,098,289	7,641,107	28,893,255
経常利益 (千円)	555,310	457,863	1,995,587
四半期(当期)純利益 (千円)	330,152	291,540	418,940
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	492,463	130,019	822,761
純資産額 (千円)	14,986,699	14,930,769	15,303,370
総資産額 (千円)	21,398,780	22,752,888	23,138,970
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	33.17	29.29	42.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	29.25	-
自己資本比率 (%)	63.4	59.9	60.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	400,589	1,204,141	1,232,102
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	247,129	92,698	466,585
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	473,553	469,242	570,408
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	7,283,614	8,132,304	7,297,487

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第28期及び第28期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や底堅い個人消費を背景に緩やかな回復基調に転じておりますが、欧州の債務危機に端を発した世界経済の減速懸念や長期化する円高などマイナス要因も数多くあり、先行きに対する不透明感は依然として続いております。

このような環境の中、当社グループはPLM分野におけるNo.1プレイヤーを目指し、CATIAライセンス販売において絶対的な地位を築くため競合他社からの客先移管を促進するとともに、インフラ構築ビジネスの分野では、爆発的に増加するデータを管理する上で最適なストレージシステムとデータ解析に役立つソフトウェアを組み合わせ、顧客に提案するなど、当社システムの付加価値を明確にするよう努めました。また、スーパーコンピューターに代表されるHPC分野においては、大学・官公庁をはじめとする研究機関向けシステムの受注活動にも注力いたしました。

その結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が7,641百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は391百万円（同24.5%減）、経常利益は457百万円（同17.5%減）、四半期純利益は291百万円（同11.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、製造業を中心とした得意先企業への積極的な販売努力及び大規模なHPCシステムの受注などにより、外部顧客への売上高が7,357百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益は445百万円（同21.8%減）となりました。

連結子会社である㈱ジークットが中心となって行うEDA事業につきましては、主要顧客である国内の半導体及び液晶関連企業の設備投資縮小の影響を受け、EDA製品の販売、サービスともに伸ばすことができず、外部顧客への売上高が283百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント損失は53百万円（前年同四半期のセグメント損失は46百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ386百万円減少し、22,752百万円となりました。

（資産）

流動資産は、現金及び預金が834百万円増加、受取手形及び売掛金が1,019百万円減少、商品が101百万円増加、仕掛品が75百万円減少、その他が77百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比234百万円減の15,856百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が6百万円減少、無形固定資産が5百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が141百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比151百万円減の6,896百万円となりました。

（負債）

流動負債は、買掛金が183百万円減少、未払法人税等が400百万円減少、賞与引当金が225百万円減少、役員賞与引当金が37百万円減少、その他が818百万円増加したことにより、前連結会計年度末比28百万円減の6,462百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が22百万円増加、その他が7百万円減少し、前連結会計年度末比15百万円増の1,360百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比13百万円減の7,822百万円となりました。

（純資産）

純資産は、利益剰余金が206百万円減少、その他有価証券評価差額金が151百万円減少、少数株主持分が16百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比372百万円減の14,930百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金1,204百万円、投資活動により得られた資金92百万円、財務活動により使用した資金469百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ834百万円増加（11.4%増）し、8,132百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて803百万円増加（200.6%増）し、1,204百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益457百万円、売上債権の減少額1,019百万円、前受金の増加額450百万円、その他の流動負債の増加額339百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額225百万円、役員賞与引当金の減少額37百万円、その他の流動資産の増加額41百万円、仕入債務の減少額183百万円、法人税等の支払額598百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて154百万円減少（62.5%減）し、92百万円となりました。

収入の主な内訳は、有価証券の償還による収入100百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出6百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べて4百万円減少し（0.9%減）、469百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額464百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は115百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,720,000
計	42,720,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,454,100	10,454,100	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,454,100	10,454,100	-	-

(注) 「提出日現在の発行数」には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	10,454,100	-	1,337,718	-	1,445,118

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,952,200	99,522	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,454,100	-	-
総株主の議決権	-	99,522	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)アルゴグラフィックス	東京都中央区日本橋 箱崎町5-14	500,200	-	500,200	4.78
計	-	500,200	-	500,200	4.78

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,337,487	9,172,304
受取手形及び売掛金	6,163,159	5,144,105
商品	728,553	830,416
仕掛品	134,586	59,536
原材料及び貯蔵品	9,499	8,911
その他	719,242	642,133
貸倒引当金	1,500	1,300
流動資産合計	16,091,028	15,856,107
固定資産		
有形固定資産	329,355	323,010
無形固定資産	45,843	40,607
投資その他の資産		
投資有価証券	3,224,292	3,082,865
長期預金	² 2,700,000	² 2,700,000
その他	748,452	750,296
投資その他の資産合計	6,672,744	6,533,162
固定資産合計	7,047,942	6,896,780
資産合計	23,138,970	22,752,888
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,947,544	3,763,896
未払法人税等	582,898	182,004
賞与引当金	417,878	192,053
役員賞与引当金	50,000	12,500
その他	1,492,644	2,311,568
流動負債合計	6,490,966	6,462,023
固定負債		
退職給付引当金	1,057,543	1,080,464
その他	287,090	279,631
固定負債合計	1,344,634	1,360,096
負債合計	7,835,600	7,822,119

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,718	1,337,718
資本剰余金	1,445,118	1,445,118
利益剰余金	11,681,427	11,475,275
自己株式	598,333	598,333
株主資本合計	13,865,930	13,659,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,595	3,469
為替換算調整勘定	27,620	25,781
その他の包括利益累計額合計	119,974	29,251
新株予約権	242,501	242,224
少数株主持分	1,074,963	1,058,017
純資産合計	15,303,370	14,930,769
負債純資産合計	23,138,970	22,752,888

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
【 四半期連結損益計算書 】
【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	7,098,289	7,641,107
売上原価	5,455,378	6,040,518
売上総利益	1,642,911	1,600,589
販売費及び一般管理費合計	1,123,561	1,208,607
営業利益	519,349	391,981
営業外収益		
受取利息	16,003	13,918
受取配当金	18,877	17,655
補助金収入	3,889	19,506
その他	584	15,721
営業外収益合計	39,356	66,802
営業外費用		
持分法による投資損失	2,059	-
減価償却費	663	562
会員権売却損	-	357
その他	672	-
営業外費用合計	3,394	920
経常利益	555,310	457,863
税金等調整前四半期純利益	555,310	457,863
法人税、住民税及び事業税	263,431	204,085
法人税等調整額	32,698	22,800
法人税等合計	230,732	181,285
少数株主損益調整前四半期純利益	324,578	276,578
少数株主損失 ()	5,574	14,962
四半期純利益	330,152	291,540

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,578	276,578
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	160,197	151,065
為替換算調整勘定	5,255	7,078
持分法適用会社に対する持分相当額	2,432	2,572
その他の包括利益合計	167,884	146,559
四半期包括利益	492,463	130,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	495,867	142,314
少数株主に係る四半期包括利益	3,403	12,295

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	555,310	457,863
減価償却費	44,362	24,425
株式報酬費用	10,725	-
賞与引当金の増減額(は減少)	235,282	225,825
役員賞与引当金の増減額(は減少)	40,000	37,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	18,772	22,920
受取利息及び受取配当金	34,881	31,574
持分法による投資損益(は益)	2,059	12,886
売上債権の増減額(は増加)	356,184	1,019,054
たな卸資産の増減額(は増加)	33,479	26,225
その他の流動資産の増減額(は増加)	3,056	41,245
仕入債務の増減額(は減少)	421,462	183,648
前受金の増減額(は減少)	183,470	450,751
未払消費税等の増減額(は減少)	20,104	16,216
その他の流動負債の増減額(は減少)	349,099	339,183
その他	4,050	39,841
小計	834,836	1,778,917
利息及び配当金の受取額	30,143	24,212
法人税等の支払額	464,390	598,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,589	1,204,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	-
差入保証金の差入による支出	18,033	1,615
有形固定資産の取得による支出	13,751	6,715
有価証券の償還による収入	-	100,000
投資有価証券の取得による支出	15,750	-
その他	5,335	1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	247,129	92,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	464,253	464,592
その他	9,300	4,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	473,553	469,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,255	7,219
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	179,421	834,816
現金及び現金同等物の期首残高	7,101,360	7,297,487
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,833	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,283,614	8,132,304

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 この変更による損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関連会社の金融機関からの借入金に対して行っている債務保証は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
D&A Technology Co.,Ltd	91,600千円	88,129千円

- 2 期限前解約権を銀行のみが保有しており、当社から解約を行う場合、取引銀行所定の解約精算金を支払う必要があります。これにより預金元本を毀損する可能性があるものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
長期預金	2,700,000千円	2,700,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
現金及び預金	8,923,614千円	9,172,304千円
預入期間が3か月超の定期預金	1,640,000	1,040,000
現金及び現金同等物	7,283,614	8,132,304

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月16日 定時株主総会	普通株式	497,692	50	平成23年3月31日	平成23年6月17日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	497,692	50	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,799,603	298,685	7,098,289	-	7,098,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	135	-	135	135	-
計	6,799,738	298,685	7,098,424	135	7,098,289
セグメント利益又は損失()	570,014	46,367	523,646	4,297	519,349

(注)1. セグメント利益の調整額は、のれんの償却額 4,297千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)1
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,357,444	283,663	7,641,107	-	7,641,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,488	660	2,148	2,148	-
計	7,358,933	284,323	7,643,256	2,148	7,641,107
セグメント利益又は損失()	445,696	53,714	391,981	-	391,981

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	33円17銭	29円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	330,152	291,540
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	330,152	291,540
普通株式の期中平均株式数(株)	9,953,850	9,953,850
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	29円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
(うち支払利息(税額相当額控除後) (千円))	(-)	(-)
(うち事務手数料(税額相当額控除後) (千円))	(-)	(-)
普通株式増加数(株)	-	12,911
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社アルゴグラフィックス
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	沼田 敦 士 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	三井 勇 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルゴグラフィックスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルゴグラフィックス及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。